

一步足を踏み入れると、そこには  
圧倒的な数のストックパーツが!



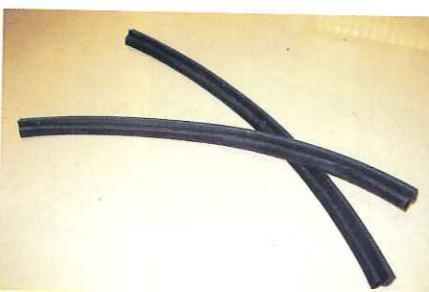
**部品番号をデ  
迅速・的確なパ**

部品番号をデータベース化し  
迅速・的確なパツ供給を実現

## 一タベース化し ーツ供給を実現



車種ごとに弱点と言われているパーツを重点的に揃など、量だけでなく質にも高いレベルを誇っているのピードジャパンの特長だ。



100セット入荷したものの、すぐに売り切れてしまったというW124のボンネット部分ゴムバーツ。このようなユーザーのニーズも、今後の仕入れなどに反映される。



ジェクトも画策しているという。そこには常に「エンドユーザー」がもつと輸入車を楽しめるように」という、スピーディジャパンの一貫した理念があるのだ。

硬直した輸入車市場の打破を目的に設立  
インター・ネット専門の輸入車パーティ  
ショップとして先駆け的な存在である  
「スピードジャパン」。マルセデス・ベンツ、  
ボルシエ、フェラーリなどを始めとする純正・OEMパーツを常時数  
万点ストックしているというところら  
シヨップは、クルマを趣味とするマルセ  
デスオーナーならば、すでに利用し  
たことのある人も少なくないだろう。  
スピードジャパンの発足は1999年。  
それまでの日本の輸入車パーティ業

ストックパーツは数万点！メルセデス関連部品のオンライン通販商社

# スピードジャパンの パッケージ発送センターを拝見！

メルセデス・ベンツ関連部品のオンラインショップの先駆けとして、インターネットが一般に広く普及した90年代末期から積極的に事業を展開してきたスピードジャパン。今回はなんと、そのパーツがストックしてあるという発送センターを、特別に見学させてもらえることになった。パーツマニアは必見！



愛知県北名古屋市にある整備工場「エアーフォルク」では、スピードジャパンと提携してレンタルガレージなどのサービスを行なうことなどが今後計画されている。



全国からユーザーの問い合わせが集まる、スピードジャパンパーク発送センターのオフィス。独自の検索システムを利用した素早い処理が行なわれている。

界といえば、国産車メーカーが積極的に整備マニュアルを公開するなどして情報を開示しているのとは対照的に非常に閉鎖的な状況だった。今でも多くの人が感じている「輸入車の維持費は高い」というイメージは、当時の大手輸入代理店の独占状態による非常に高額な価格設定が影響していることもひとつ大きな原因だと言えるだろう。

そんな硬直した輸入車バーツの市場構造を打破したいという思いで、同社の前身ともいえるネット上のコミュニティ「GCC (German Car

「スピードジャパン」から150名以上の出資者によって設立されたというのが、スピードジャパンの始まりだった。当初は出資金の上限を一人1000万円までと設定したにも関わらず、合計で1億2000万円もの資金が集まつたという事実からも、このプロジェクトにエンジニアーやいかに期待していたかがうかがえる。

一般の人は入れない  
発送センターを拝見！

ところで、そんな「スピードジャパン

「」つて一体どんなところ? という興味をお持ちの人も数多くいることだろう。ネットでの販売専門という特性上、その実態を見るることはなかなかできない同社だが、今回は縁あって特別にそのストックパーソンの大半を管理しているという、愛知県一宮市にあるパーソン発送センターを拝見させてもらえる機会に恵まれた。一般の人にもらえる、もちろん、メディアでもめったに公開されることがないというこのパーソン発送センター。D-1Y派のメルセデスオーナーは必見の内容だ。



<http://www.speedjapan.co.jp/>

TEI 03-3555-8865

「スピードジャパン」はメルセデス・ベンツ、ポルシェ、フェラーリを中心とした、純正・OEMパーツを取り揃えるインターネット販売専門のウェブショップ。データベース化された部品番号検索システムによる正確なパーツ供給体制は、発足以来多くのユーザーに支持されている。パーツ数は常時数万点をストックしているが、ない場合にも本国からすぐに取り寄せられるネットワークを持っていることも魅力。メルセデスオーナーにとっては大変心強いショップだ。